

PMAJ PMシンポジウム2006 講演申込書

- ◆ 下記 白地部分にもれなくご入力ください
- ◆ 入力後のデータを添付していただき、PMシンポジウム2006講演募集係宛にメールでご返送ください。(E-mail: admi-sympo@pma.or.jp)
- ◆ お忙しいところ大変恐縮ですが、本データは 2006年1月31日(火)までにお送りください。

2006/5/8 20:05

ご講演者 お名前	石本一鶴	PMAJ 会員NO	AJ000437
会社名	日本工営株式会社	部署名	海外カンパニー 道路・橋梁部
役職	マネジメント・リーダー	e-mail	ishimoto-ic@n-koei.jp
TEL	03-5276-7670	FAX	03-5276-3081
住所	〒 102-0083 千代田区麹町4-2		

ご協力者 お名前		PMAJ 会員NO	
会社名		部署名	
役職		e-mail	
TEL		FAX	
住所	〒		

ご講演のテーマ(英語可)

ハイバントネル建設事業におけるコンサルタントのプロジェクトマネジメント

希望のトラック名

第1希望 エンジ・建設・不動産 第2希望 グローバル(英語)

ご講演内容のアブストラクト(英語可)

(全角換算2,000字程度でご記入ください)

現在の入力文字数 (入力エリアの文字数を自動カウントします)⇒

791

ベトナムの国道1号線は、国土を縦貫する南北間物流の幹線であり、そのハイバン峠区間(中部フェーダナン間に位置する全長約22kmの峠)は、道路も狭く、勾配が山岳道路並みにきついに急カーブが多いため、同路線の最大のボトルネックとなっている。

ハイバントネル建設プロジェクトは、日本のODA資金(円借款)を利用して、本峠区間において、全長約6.3kmの道路トンネル(対向2車線)およびアプローチ道路・橋梁を建設する。土木工区、電気工区、機械工区と全部で9つの契約工区で構成され総額約200億円の事業である。

国際建設プロジェクトは一般的にFIDIC(国際建設工事契約約款)に基づいた、The Employer, The Engineer, The Contractorの3者関係による工事の実施形態を採用し、コンサルタントチームはThe Engineerとしてプロジェクトマネジメントに責任を有する。

ハイバントネル建設プロジェクトのコンサルタント業務は1998年1月末の予備設計から開始され、詳細設計と入札過程を経て、2000年10月の着工とともに施工監理を開始した。2003年10月末に本坑が貫通し、2005年1月にトンネル土木工事は竣工した。2005年6月5日に盛大にトンネル開通式典が執り行われ、翌6月6日朝のNHK総合ニュースでも報じられた。爾来、ベトナム人によるトンネル維持管理会社がトンネルの運営を担当しているが、開通後今日までトンネル内では重大な事故もなく、トンネル運営は安定してきた。

筆者は2000年8月よりダナン市に駐在し、コンサルタントチームのプロジェクトマネジャーとして、プロジェクトマネジメントをPMBOK(ピンボック:プロジェクトマネジメント知識体系ガイド)を参照しながら、プロジェクトを舵取りしてきた。

ご講演者の略歴と講演経験(社内講師も含む。英語可)

(文字数は無制限です)

現在の入力文字数 (入力エリアの文字数を自動カウントします)⇒

472

1988: 日本工営(株)入社、1988.07-1989.05はインドネシア出張。1989.05-1992.09は札幌支店勤務、主に道路と道路関連施設の調査・計画・設計業務に従事。1992.10に海外事業部へ異動、道路と道路関連施設の調査・計画・設計業務に従事。爾来、スリランカ(1992)、中国(1993)、タイ(1994)、ジンバブエ(1995)、エルサルバドル(1995-1997、転勤)、インド(1997、1998)、フィリピン(1998、2000)、ベトナム(1998-現在)と勤務してきた。2002年3月にプロジェクトマネジャーに就任。2005年10月末、7年のベトナム転勤を終了し帰国。爾来、東京本社で多数のプロジェクトを監理・支援するプログラムマネジメントを担当している。

講演経験:

1995: 「日本の土木の歩み」: エルサルバドル土木建築学会

1998: 「CAD道路設計の理論と実際」、社内講師

2004: Ministry of Transport, Technology Seminar (Vietnam)

2005: PMIグローバルコンgres、シンガポール大会(2月22日)

2005: 世界道路会議、バンコック(6月17日)

2005: 日本シビックコンサルタント(株)、技術セミナー講師(10月26日)

2005: 社内技術セミナー講師(12月21日)

ご応募のきっかけ(以下からご選択ください)

E-mail案内 PMAJホームページ 他ホームページからPMAJへのリンク 紙配布案内 知人からの紹介 その他

ご協力ありがとうございました